

款 6 農林水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,825,579,000円	1,781,051,204円	97.6%	0円	44,527,796円

項 1 農業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
574,796,000円	550,568,389円	95.8%	0円	24,227,611円

目 1 農業委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
20,139,000円	19,275,501円	95.7%	0円	863,499円

目的	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定を進める				
指標	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定延べ面積	目標	500 ha	実績	497 ha (17年度 462 ha)
説明	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定延べ面積は、認定農業者への農地の集積を推進した結果、前年度に比べ35ha増加し、ほぼ目標を達成することができました。19年度から始まった品目横断的経営安定対策に対応するために、今後も集落営農組織や個人の担い手への農地の集積を進め、農地の遊休化を防止し、地域農業の振興に努めます。				

〔農用地利用集積特別対策事業費〕 1,211,863円 (その他特財 28,000円)
 〔農地調整事務処理事業費〕 26,118円 (県支出金 26,000円)
 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定など農地の利用調整とあっせんを実施しました。

その他経費

〔委員報酬〕 12,876,400円 (県支出金 3,788,000円)
 ・農業委員 38名(4月)
 37名(5月～)
 〔農業経営管理能力向上支援事業費〕 102,523円
 農業経営の資質向上のため、農業簿記研修会を実施しました。
 (3コース各8回開催 延べ参加者120人)
 〔農業者年金関係事業費〕 670,200円 (その他特財 670,100円)
 「農業委員会だより」や農協広報誌に記事を掲載し、農業者年金制度への加入促進に努めました。
 〔負担金〕 956,000円
 ・三重県農業会議

目 2 農業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
325,860,000円	321,665,503円	98.7%	0円	4,194,497円

〔一般職給〕 36人 307,655,818円 (県支出金 1,590,000円)
 (その他特財 55,859,632円)
 〔嘱託職給〕 1人 3,316,673円

目的	水田農業の推進				
指標	米の作付面積 (作付目標達成率)	目標	1,889.7ha (100%以下)	実績	1,855.3ha (98.2%) (17年度 1,898.4ha)

説明	四日市市水田農業推進協議会の推進方針に基づき、各集落や各地区農業推進協議会等において需要に見合った米の生産や生産調整実施のための説明会を開催し、農家への情報提供を積極的に行った結果、目標を達成することができました。			
	〔生産調整推進対策事業費〕	6,238,674円	(県支出金	2,500,000円)
	〔地区農業推進協議会交付金〕	22地区協議会	2,700,000円	

目3 農業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
203,553,000円	186,313,361円	91.5%	0円	17,239,639円

目的	農業生産を中核的担い手農家(認定農業者)が担うようになる				
指標	認定農業者数	目標	215経営体	実績	215経営体 (17年度 199経営体)
説明	認定農業者数については、19年度から実施された品目横断的経営安定対策に対応するために、新規の認定農業者の確保に努めた結果、新たに24経営体の認定を行いました。の中には、今後、集落営農組織の担い手となることが期待される方も多く、新たな担い手の確保につながりました。一方で、本人の高齢化と後継者がいないなどの理由により更新を行わなかった者が8経営体あったことから、合計では昨年度に比べ16経営体増の215経営体となり目標を達成できました。また、四日市農業再生事業において、農業者自らが直接販売するための施設整備や、新規就農のための初期投資、農業技術の習得を支援するなど、「担い手の育成・確保」を図りました。加えて、制度資金を活用し、認定農業者等の施設改善を図りました。				

- 〔四日市農業再生事業費〕 5,709,000円
 - ・農業経営基盤支援事業費 1,748,000円
直売施設等整備4件、販売促進備品等整備2件に対して助成しました。
 - ・新規就農支援事業費 3,961,000円
新規就農者5人の施設整備に対して助成しました。
- 〔農業経営近代化資金利子補給金〕 8,147,754円
農協等5金融機関を通じ、前期178件、後期179件の資金融通に対して利子補給を実施しました。
- 〔農業経営基盤強化資金利子補給金〕 961,787円 (県支出金 480,888円)
三重県信用農業協同組合連合会を通じ、26件の資金融通に対して利子補給を実施しました。
- 〔農業後継者対策事業費〕 606,000円
農業大学校での研修費助成を4人に、農業青少年クラブへの活動費助成を行いました。

目的	地域農産物の地産地消を推進する				
指標	農協共同直販施設 売上額	目標	350百万円	実績	397百万円 (17年度 344百万円)
説明	農協共同直販施設における売上は年々増加しており、目標を上回る結果となりました。「新鮮で安全・安心な食材」を求める消費者ニーズと合致し、農業者に売れる喜びを与えたことから、登録農家も増加するなど、生産意欲を増すきっかけとして定着したものとなりました。また、梨作りや茶摘みなどの農業体験の実施や、市ホームページの農業関連ページでの生産現場や季節毎の話題の紹介などを通じて、農業を知る取り組みとして、食育や地産地消を積極的に推進しました。				

- 〔四日市農業再生事業費〕 2,267,805円
 - ・地産地消推進事業費 861,610円 (その他特財 89,500円)
バスツアーを2回(酪農・うどん打ち、肉牛・食肉市場)、農業体験を3事業(梨づくり、茶摘み、海苔すき)実施しました。(参加者数合計319人)
 - ・無農薬無化学肥料栽培推進事業費 135,920円 (その他特財 84,000円)
健康野菜作り講習会(84人参加)を実施しました。
 - ・新規作物開発栽培試験事業費 283,478円
食用ホオズキ、ミニハクサイの試験栽培、バイテク育苗種(6品種)を行いました。
 - ・大豆特別栽培推進事業費 986,797円
生産者7人、栽培面積32ha、収穫量26t
生産された大豆は、農協を通じて出荷され、豆腐などに加工されました。

〔ふるさと産品まつり開催費補助金〕 3,680,000円
 11月11日(土)・12日(日) 四日市競輪場にて開催 来場者数55,000人

目的	農地の保全・有効活用を図る				
指標	遊休農地の 優良農地復元化面積	目標	200 a	実績	140 a (17年度 250 a)
説明	農業従事者の高齢化や後継者不足など、農業の抱える様々な問題から、遊休農地は増加傾向にあります。そこで、四日市農業再生事業において既に遊休化した農地の優良農地への復元化支援を実施し、18年度には140a復元化され、16年度からの延べ面積が450aとなりました。その結果、担い手の作業の効率化や後継者、新規就農者の確保につながりました。また、農地の保全・有効活用をはかるために、市内全農家を対象に平成15年度に実施した農地有効活用意向調査を基に、担い手への農地のあっせんを引き続き努めました。				

〔四日市農業再生事業費〕 982,646円
 ・遊休農地対策事業費 982,646円
 既に遊休化した農地を優良農地への復元に対して助成しました。(6件、1.4haの復元)
 〔市民菜園設置事業費補助金〕 262,000円 (その他特財 262,000円)
 市民が開設する市民菜園の施設整備に対して助成しました。(2件)

目的	集団転作への取組支援				
指標	集団転作の実施面積	目標	350ha	実績	348.0ha (17年度 340.3 ha)
説明	米の生産調整の確実な実施と水田における麦・大豆等の本格的生産のため、集落ぐるみでの集団転作を支援しました。18年度実施面積は生産調整の強化もあり、ほぼ目標どおりの実績が確保されました。19年度から実施された品目横断的経営安定対策への対応も含めて目標面積を確保できるよう、引き続き各集落への啓発を行っていきます。				

〔集団転作推進事業費〕 8,498,700円
 集落ぐるみで集団転作に取り組む、23営農組織に対して助成しました。(実施面積329ha)
 〔生産調整推進特別事業費〕 665,205円
 旧楠町における生産調整の推進に対して助成しました。(1,500円/10a) 187人 4,434.7a

目的	優良茶の生産を図る				
指標	茶品評会入賞点数	目標	25点	実績	23点 (17年度 21点)
説明	本市特産の茶において、全国への知名度や生産者の意欲の向上のために、茶品評会への出品に対する支援を、県農業改良普及センターや茶農協と連携し実施した結果、農林水産大臣賞をはじめ、上位入賞を果たすことができましたが、入賞点数は目標まで至りませんでした。引き続き、良質茶の生産振興や消費宣伝活動に対して支援を行っていきます。				

〔農産物の生産及び流通対策事業〕 423,600円
 近鉄四日市駅西展示ほ場の管理を宮妻茶研究会へ委託実施しました。
 〔ブランドニッポン農産物供給体制確立事業〕 110,000円 (県支出金 55,000円)
 〔茶業振興対策事業費補助金〕 280,000円
 四日市茶業連合会が実施する、伊勢茶PR事業等へ助成しました。
 〔伊勢茶出品対策事業費補助金〕 600,000円
 四日市茶業連合会が実施する、全国、関西茶品評会への出品事業費を助成しました。

その他経費

〔農産物価格安定対策事業資金貸付金〕 11,180,000円 (その他特財 11,180,000円)
 〔施設園芸作物振興対策事業費補助金〕 100,000円
 〔楠町農家実行組合補助金〕 640,000円
 〔楠町機械銀行受託者部会補助金〕 320,000円
 〔楠町軟弱野菜生産者協議会補助金〕 90,000円
 〔楠町南川営農組合補助金〕 100,000円
 〔有害鳥獣対策事業費〕 1,531,000円
 ・有害鳥獣異常発生対策事業費 1,141,000円
 各地区で実施する電気柵等の防除施設材料購入に対して助成しました。(4件)
 ・有害鳥獣駆除事業費補助金 390,000円

三泗支部猟友会が実施する駆除事業に対して助成しました。(駆除実績272頭羽)
〔市民菜園管理運営費〕 1,433,589円 (その他特財 1,433,589円)
市が開設する市民菜園15園(570区画)の運営を、各園入園者で組織する協議会へ委託実施しました。
〔北勢公設地方卸売市場組合施設整備 58,213,560円 (その他特財 58,213,560円)
受託事業費〕北勢公設地方卸売市場組合の施設整備事業を受託し実施しました。
〔負担金〕 79,305,000円
・北勢公設地方卸売市場組合 19,314,000円
・三泗鈴亀農業共済事務組合 59,926,000円
・三泗農業振興協議会負担金 65,000円

目4 農業研究施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
25,244,000円	23,314,024円	92.4%	0円	1,929,976円

目的	新規農業者育成研修の実施				
指標	新規農業者育成研修の実施人数	目標	20名	実績	12名 (17年度 17名)
説明	新規就農希望者の受け入れは前年度に比べ5名、目標に対し8名減と下回りましたが、研修終了後に就農し、販売を行う者がでてきました。研修事業を継続的に実施することで、新規就農者が育っており、今後も積極的に事業を進め、農業の新たな担い手の育成、確保に取り組めます。				

目的	栽培試験と土壌等の分析実施				
指標	栽培試験、土壌等の分析	目標	910件	実績	674件 (17年度 881件)
説明	栽培試験は農家より依頼のあったものを中心に実施しました。各分析については、目標件数には達しなかったが、土壌分析の結果を農家等へ提供して、土づくり、施肥設計に利用され、良質な作物づくりに寄与しました。今後、特産物である茶の成分分析と併せて積極的に業務を進めます。また、有望性の高い作物・品種の試験栽培に取り組み、農家の経営安定を図っていきます。				

〔農業センター施設管理運営費〕 14,302,651円 (その他特財 2,857,508円)
農業センター年間来場者数 4,220人

目的	種苗の育成と農家への提供				
指標	提供種苗数	目標	95,000株	実績	93,489株 (17年度 94,725株)
説明	バイオテクノロジー等により、観葉植物の組織培養苗を農家に供給するとともに、アジサイでは、胚珠培養による新品種の育成に取り組み、観葉植物以外の種苗(アジサイ、ミヤコワスレ、イチゴ等)を育成し、農家へ提供しましたが、提供種苗数は目標には達しませんでした。今後も、安定的に種苗提供することで、農家の経営安定を図っていきます。				

〔バイオテクノロジー栽培技術導入事業費〕 2,047,335円 (その他特財 2,047,335円)

目的	情報交換、技術取得の場の提供				
指標	研修施設・機械等 利用回数	目標	190回	実績	172回 (17年度 195回)
説明	農家の情報交換・技術取得の場として、又、市民の園芸知識の普及の場として農業研修センターを、茶農家の情報交換の場として茶業振興センターを提供しましたが、利用回数は目標には達しませんでした。今後も、引き続き両施設を情報交換、技術向上の場として提供していきます。				

〔茶業振興センター管理運営費〕 1,607,650円 (その他特財 84,000円)
茶業振興センター年間来場者数 1,523人

その他経費

〔市民園芸啓発事業〕
提供件数の内訳

区分	インターネットHP	市民園芸教室	園芸相談	合計
平成18年度 (17年度)	77件181,798件 (126,348件)	受講者270人 (372人)	231件 (292件)	182,299件 (127,012件)

〔ふれあい牧場管理運営費〕 5,326,388円 (その他特財 26,847円)
ふれあい牧場年間来場者数 37,386人

項2 畜産業費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
387,927,000円	387,856,510円	100.0%	0円	70,490円

目1 畜産総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
17,075,000円	17,073,294円	100.0%	0円	1,706円

〔一般職給〕 2人 16,357,148円

目2 畜産振興費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
64,070,000円	64,001,216円	99.9%	0円	68,784円

目的	畜産物を安定生産する			
指標	飼養頭羽数	目標	実績	
		乳牛 400頭 肉牛 2,800頭 豚 7,000頭 採卵鶏140,000羽	乳牛 320頭 (17年度 330頭) 肉牛 2,570頭 (17年度 2,490頭) 豚 6,300頭 (17年度 6,400頭) 採卵鶏 170,000羽 (17年度 160,000羽)	
説明	畜産物の安定生産には、畜産農家の経営の安定が不可欠であり、関係機関とともに情報・意見の交換を行ない、生産技術の向上を図りました。その結果、畜産農家の高齢化等により畜産農家数が減少する中、目標には達しなかったものの、一戸当たりの飼養頭数は増加しました。あわせて、家畜防疫を行うなど畜産環境の改善のための支援を行ないました。			

〔畜産振興事業費〕 63,470,000円
 ・銘柄豚普及活性化事業費補助金 1,570,000円
 「三重クリーンポーク」、「みえ豚」の銘柄豚の普及・消費拡大事業へ助成しました。
 ・乳牛育成事業費補助金 1,900,000円
 四日市酪農業協同組合がふれあい牧場で実施する、乳牛の育成事業へ助成しました。
 ・肉牛肥育預託事業貸付金 60,000,000円 (その他特財 457,200円)
 三重県四日市畜産公社が実施する、肉牛預託事業資金の貸し付けを行いました。(10年間)
 〔環境保全対策事業〕 498,000円
 ・畜産防疫環境保全対策事業費 498,000円

目3 食肉センター食肉市場費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
306,782,000円	306,782,000円	100.0%	0円	0円

〔食肉センター食肉市場特別会計繰出金〕 306,782,000円

項3 農地費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
741,309,000円	722,929,140円	97.5%	0円	18,379,860円

目1 農地総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
198,477,000円	195,060,472円	98.3%	0円	3,416,528円

〔一般職給〕 11人 77,363,777円
 〔嘱託職給〕 1人 3,678,082円
 〔農業集落排水事業特別会計繰出金〕 113,837,000円

目2 土地改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
531,720,000円	518,000,344円	97.4%	0円	13,719,656円

目的	土地改良事業の推進				
指標	整備面積	目標	0.8ha	実績	0.7ha (17年度 2.2ha)
説明	経営規模を拡大し生産性の向上を図り、効率的な土地利用を推進し農業経営を担うものを確保するため、市場地区において18年度より基盤整備事業を開始し、不整形な田畑の整地を行うとともに道路や排水の整備を、目標には達しませんでした。また、実施しました。また、四日市農業再生事業の一環として、朝明町内において国補事業に満たない小規模な基盤整備を市単独土地改良事業で0.46ha実施しました。				

〔市場地区ほ場整備事業費〕 15,214,800円 (その他特財 14,630,389円)
 市場地区の基盤整備事業を実施し、田畑の整地を行うとともに道路や水路の整備を行いました。
 〔県単土地改良事業費〕 11,899,650円 (県支出金 4,800,000円)
 ほ場整備を実施し集落営農への取り組みの顕著な地域において、農道等の整備を行いました。
 〔土地改良施設維持管理適正化事業費〕 16,000,000円 (その他特財 14,400,000円)
 小杉町の井堰と楠町の排水機場の修繕を行いました。
 〔市単土地改良事業費〕 38,497,200円 (その他特財 3,633,735円)
 農道・ポンプ施設等の修繕を33ヶ所で行いました。
 〔農村公園維持管理事業費〕 65,100円
 農村公園の遊具の修繕を1ヶ所で行いました。
 〔農道等維持修繕費〕 955,272円
 地元で施工する修繕等の材料を7ヶ所に支給しました。
 〔ふるさと・水と土保全基金積立金〕 14,147円
 〔土地改良事業元利補給金〕 121,750,318円
 〔札幌地区ほ場整備事業費補助金〕 2,672,716円
 〔三重用水関連事業〕 302,234,322円
 ・三重用水事業償還金 256,754,322円 (その他特財 14,259,198円)
 ・三重用水土地改良区負担金 43,870,000円

・三重用水管理体制整備促進事業費	1,610,000円	(県支出金	1,203,000円)
〔事業費負担金〕	5,703,360円		
・土地改良施設維持管理適正化事業(小杉)	715,000円		
・土地改良施設維持管理適正化事業(楠)	1,495,000円		
・県営鈴鹿川沿岸かんがい排水事業	2,520,000円		
・県営鈴鹿川沿岸経営体育成基盤整備事業	973,360円		
〔団体負担金〕	978,700円		
・三重県土地改良事業団体連合会	878,700円		
・広域営農団地農道整備事業推進協議会	50,000円		
・三重県農道管理協議会	45,000円		
・三重県農地海岸協議会	5,000円		
〔工事雑費〕	884,539円	(その他特財	146,000円)
〔その他事務費〕	1,130,220円		

目3 農地防災費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
11,112,000円	9,868,324円	88.8%	0円	1,234,676円

目的	農地、農業用施設の防災対策				
指標	管理対象井堰・樋門数	目標	117箇所	実績	117箇所 (17年度 117箇所)
説明	農業用水利の効率的な運用及び農地防災等の円滑な推進を図るため、井堰・樋門の適切な維持管理を、目標どおり行いました。あわせて、楠・南北排水機場の適正な維持管理にも努めました。				

〔井堰・樋門管理委託費〕	391,400円
〔南・北排水機場維持管理事業費〕	4,906,337円
〔南・北排水機場運転管理委託事業費〕	4,570,587円

項4 水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
121,547,000円	119,697,165円	98.5%	0円	1,849,835円

目1 水産業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,588,000円	8,586,647円	100.0%	0円	1,353円

〔一般職給〕	1人	8,586,647円
--------	----	------------

目2 水産業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,104,000円	3,130,360円	76.3%	0円	973,640円

目的	水産物を安定供給する				
指標	生産量（海面漁業）	目標	8,200 t	実績	7,642 t (17年度 9,685 t)
	生産額		700百万円		511百万円 (17年度 400百万円)
説明	有用微生物群（EM）を活用した魚場環境浄化実証試験を引き続き実施するとともに、ヨシエビ、抱卵ガザミの種苗放流事業もあわせて実施し、魚場環境の改善と水産資源の保護・育成を行いました。しかし、目標には達しておらず、漁獲高の安定化に至っていないことから、今後も継続的に水産振興のための取組を実施していきます。				

〔豊かな海づくり推進事業費〕	2,774,200円			
・水産環境改善事業費	1,350,200円			
EMを活用した水質環境浄化実証事業を四日市市漁協へ委託実施しました。				
磯津漁港周辺4箇所へ活性液108t、2次培養液30t、団子3,500個、ぼかし616kgを投入しました。				
・ヨシエビ等種苗放流事業費補助金	1,093,000円		(その他特財 900,000円)	
・抱卵ガザミ放流事業費補助金	331,000円		(その他特財 179,000円)	
四日市地域漁協連絡協議会が実施する種苗放流事業へ助成しました。				
〔楠町漁業振興事業費補助金〕	200,000円			
楠町漁協が実施する生産振興、消費拡大事業等へ助成しました。				
〔負担金〕	110,000円			
・四日市地域漁業協同組合連絡協議会	20,000円			
・水産物消費拡大促進協議会	90,000円			

目3 漁港管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,711,000円	1,313,504円	76.8%	0円	397,496円

〔漁港管理経費（磯津・楠漁港）〕 1,167,504円 (その他特財 304,419円)

目4 漁港建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
107,144,000円	106,666,654円	99.6%	0円	477,346円

〔磯津漁港海岸保全事業費〕 63,000,000円 (県支出金 53,550,000円)
(市債 8,500,000円)

磯津地区の海岸堤防が老朽化等により機能が低下しているため、地震に対する液状化対策のため、堤防の地盤改良を行いました。

〔地域水産物供給基盤整備事業費〕 40,000,000円 (県支出金 32,000,000円)
(市債 7,200,000円)

磯津漁港内の静穏度の確保と漂砂の堆積防止を図るため、南防波堤の延長工事を行いました。

〔一般職給〕 1人 3,666,654円